

がん検診を受けましょう！

〜城里町のがん検診の受診状況から〜

■がん検診の必要性

日本人の死亡原因第1位は「がん」で、年間およそ30万人の方が亡くなっています。

現在のところ、がんを完全に予防することはできないため、早期に発見し、早期に治療をおこなうことが重要です。

そのために必要なのが「がん検診」です。

■町のがん検診について

広報しろさと4月号、健康カレンダー、及び町ホームページで検診日程・場所等をお知らせします。受診を希望する方は平成24年4月1日〜4月末日までに、次の方法により健康福祉課までお申込みください。

■申込方法

- 平成24年度健康カレンダー表紙の申込書（検診連絡カード）を切り抜き、住所、氏名等の必要事項を記入し、希望する検診に○を付けて、次の①〜③のいずれかの方法でお申込みください。
- ① 郵送、② FAX、③ 健康福祉課または各支所へ直

■接持参する

※はがきと同じ内容を記載し、電子メールでの申し込みも可能です。

※平成23年度にがん検診を受診した方には、全員に対して平成24年度の間診票を送付しますので、新たに申し込みをする必要はありません。

■城里町のがん検診受診者数（平成17年度〜23年度）

健康増進法に基づき、城里町が行っているがん検診は、肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん検診、乳がん、前立腺がんの6種類です。部位別で一番受診者が多かったのが肺がん、続いて大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん、胃がんの順となっています。

受診者数は、子宮がん検診、乳がん検診は平成21年度から徐々に増加していますが、それ以外の肺がん検診、大腸がん検診、胃がん検診は年々大幅に減少しており、前立腺検診は横ばいという状況です。

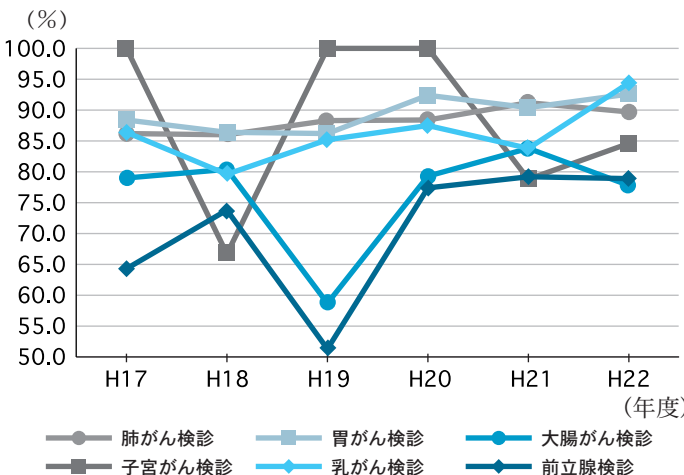
■がん検診の結果で、「要精密検査」となったら・・・

速やかに（1〜2か月以内）医療機関で精密検査を受けましょう。がん検診はスクリーニング（ふるい分け）ですから、確定診断には不十分です。異常の有無を確認し、必要があれば早期に治療を行うため、早めに精密検査を受けましょう。なお、精密検査は、健康保険が適用されますので、保険証を持参して受診しましょう。

【資料1】 城里町のがん検診で要精密と判定された人数 (単位:人)

| | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 肺がん検診 | 94 | 86 | 94 | 138 | 91 | 136 |
| 胃がん検診 | 138 | 176 | 289 | 184 | 167 | 148 |
| 大腸がん検診 | 138 | 138 | 138 | 135 | 126 | 108 |
| 子宮がん検診 | 3 | 3 | 1 | 4 | 9 | 13 |
| 乳がん検診 | 44 | 49 | 27 | 40 | 74 | 54 |
| 前立腺検診 | 56 | 61 | 39 | 31 | 43 | 38 |

【資料2】 年度別精密検査受診率 (%)



【資料3】 城里町のがん検診による

がん発見者数

(単位:人)

| | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 肺がん | 0 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| 胃がん | 0 | 3 | 6 | 1 | 1 | 2 |
| 大腸がん | 1 | 4 | 2 | 1 | 4 | 2 |
| 子宮がん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 乳がん | 1 | 2 | 2 | 1 | 6 | 1 |
| 前立腺がん | 6 | 7 | 4 | 5 | 4 | 3 |

問合せ 健康福祉課(常北保健福祉センター内) ☎029-240-6550